

한통련 뉴스레터

제64호

発行:在日韓国民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。（メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください）

정세 情勢

●韓米日首脳会談…「韓米日パートナーシップの新時代」「韓米日軍事協力を『新たな高み』へ」…対朝鮮・ロシア・中国「韓米日の軍事協力の強化＝韓米日軍事同盟化⇒韓米日軍事同盟の構築」のシナリオ

韓米日3カ国首脳会談



首脳会談後、記者会見する韓米日首脳

尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領、バイデン米大統領、岸田文雄首相は8月18日午前（日本時間19日未明）、ワシントン近郊の大統領山荘キャンプデービッドで会談。3氏は「韓米日パートナーシップの新時代」を宣言し、韓米・日米同盟の連携強化を通じて3カ国の安全保障協力を「新たな高み」に引き上げることで一致。共同声明「キャンプデービッド精神」、3カ国の中長期にわたる協力の指針を示す「キャンプデービッド原則」、「3者協議に関する公約」を採択した。

韓国大統領室によると、3カ国は「3者協議に関する公約」で、共通の利益と安全保障に影響を与える地域的挑戦、挑発、脅威への対応を調整するために迅速な協議を行うよう約束することで合意した。この公

約について、大統領室高官は、共同声明のうち域内外の共通の脅威に対する3カ国の即時協議や協力の部分を別途に取りまとめたものだと説明した。

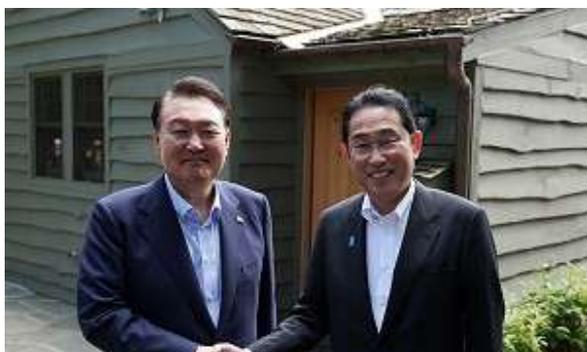
韓米日首脳は、3カ国間の包括的な協力が網羅された「キャンプデービッド精神」と、今後の韓米日協力の推進過程で堅持すべき原則が盛り込まれた「キャンプデービッド原則」を通じて、3カ国の協力を制度化するための会議の定例化、協議体の新設などに合意した。具体的には韓米日首脳会談を少なくとも年1回以上開き、これに加え、外相、防衛相、商務・産業相、安全保障担当高官がそれぞれ最低年1回以上の協議を開催する。財務相会議も新設して定例化について協議する方針。安保協力分野では、北朝鮮（※正しくは朝鮮、以下同じ）が発射したミサイル情報を即時共有するシステムを年内に稼働し、北朝鮮の核・ミサイル体制の高度化に対応するために増強された弾道ミサイル防衛協力を推進することで一致。3カ国による共同訓練の定例化でも合意した。

また、3カ国首脳は「キャンプデービッド精神」で、中国の南シナ海での海洋権益の主張を貫く攻撃的な行動について、「インド太平洋海域での一方的な現状変更のいかなる試みにも強く反対する」と表明した。3カ国は対北朝鮮での連携強化も確認

した。△北朝鮮の完全な非核化と自由で平和的に統一された朝鮮半島への支持△大量破壊兵器および弾道ミサイル開発計画の資金源につながる北朝鮮のサイバー活動に対する懸念表明△拉致被害者・抑留者・国軍捕虜問題の即刻解決に向けた意志の再確認――などが含まれた。経済安保・先端技術分野では、情報共有の拡大とサプライチェーン（供給網）の混乱に対する政策協力を高めるための早期警戒システムの試験事業開始、米国主導の新経済圏構想「インド太平洋経済枠組み（IPEF）」の交渉妥結に向けた韓米日の協力継続などの内容も盛り込まれた。

会談後の共同記者会見で、尹氏は「（韓国）国民は未来志向的な観点から韓日関係の改善と、韓米日協力が重要だと感じている」と述べた。岸田氏は「日米韓パートナーシップの新時代を開いていく。戦略的連携を一層強化する」と強調。バイデン氏は「米韓日協力の新時代だ」としつつ、「防衛協力を前例のないレベルに引き上げる」と語った。

2国間首脳会談



握手を交わす尹錫悦大統領（左）と岸田文雄首相

韓米日首脳会談に合わせ2国間首脳会談が開催された。

韓国大統領室によると、韓日首脳会談で両首脳は、韓日関係の改善を踏まえ、さまざまな分野で協力が進められていることを評価。高度化する北朝鮮の核・ミサイルに対応するため、韓米日だけでなく韓日も協力を強化していくことを確認した。

東京電力福島第1原発の処理済み汚染水海洋放出（放射能汚染水海洋投棄）問題は議題にならなかった。尹大統領は韓米日首脳による共同記者会見で「福島問題はきょう議題にはならなかった」として、「国際

的に公信力のある国際原子力機関（IAEA）の点検結果を信頼している」と表明。「ただ、計画通り処理されるかは日本や韓国を含め国際社会の責任のある、透明な点検が必要だ」と強調した。

日米首脳会談では、中国やロシア、北朝鮮への抑止力強化を念頭に、マッハ5（音速の5倍）以上で飛行し、レーダー探知が困難な極超音速兵器に対処する新型迎撃ミサイルの共同開発で合意。バイデン氏は「安全保障環境が厳しさを増す中、米日、米韓日協力を深めたい」と述べた。

韓米日の軍事協力の強化＝韓米日軍事同盟化⇒韓米日軍事同盟の構築

韓米日3カ国首脳は、首脳会談で採択・発表した「キャンプデービッド精神」「キャンプデービッド原則」「3者協議に関する公約」を通じて、朝鮮・ロシア・中国を域内外の共通の脅威と設定し、これに対抗するための3カ国の軍事協力を決定的に強化するとともに、脅威を受けた際に軍事協力のための迅速な協議を約束する「枠組み」に合意した。その中で△朝鮮が発射したミサイル情報を即時共有するシステムの年内稼働△朝鮮の核・ミサイル体制の高度化に対応する弾道ミサイル防衛協力の推進△3カ国による共同訓練の定例化をあげた。

カービー米 국무省報道官は韓米日首脳会談前に、同会談は3カ国軍事同盟のようなものを狙うものではないとことさら強調した。しかし、首脳会談の結果はどうみても「韓米日の軍事協力の強化＝韓米日軍事同盟化⇒韓米日軍事同盟の構築」のシナリオを明確に示したといえるもの。

米国の新冷戦覇権戦略に沿いながら、韓米日3カ国首脳は軍事協力の決定的な強化を宣言した。朝鮮のみならずロシアと中国も強く反発し、域内の軍事緊張が激化するのは間違いない。停戦協定締結70年を迎え、平和協定を展望しながら朝鮮半島の平和が切実に求められるこの時に、朝鮮半島と東アジアに戦争の危機をもたらす「韓米日の軍事協力の強化＝韓米日軍事同盟化⇒韓米日軍事同盟の構築」を許してはならない。

●尹大統領、光復節で慶祝辞…「日本はパートナー」「韓米日安保協力」「対北対決」「反対勢力を罵倒」…尹大統領は退陣しろ



慶祝辞を述べる尹錫悦大統領

尹大統領、光復節で慶祝辞

尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領は8月15日、ソウル市内の梨花女子大大講堂で開かれた、日本帝国主義の植民地支配からの解放を記念する「光復節」式典に出席した。

尹大統領は慶祝辞で日本を「普遍的価値を共有し共同の利益を追求するパートナー」と位置付け、「韓日は安保と経済の協力パートナーとして未来志向で協力・交流しながら、世界の平和と繁栄に共に寄与できる」と訴えた。

尹大統領は北朝鮮（※正しくは朝鮮、以下同じ）の核・ミサイルの高度化が進む中、米国、日本との安保協力の重要性が高まっていると指摘。「3カ国が緊密に連携し核・ミサイル情報が即時に共有されなければならない」と述べた。その上で、18日にワシントン近郊で開く韓米日首脳会談は「朝鮮半島やインド太平洋地域の平和と繁栄に寄与する3カ国協力の新たな一里塚になる」と指摘。また「朝鮮半島とインド太平洋地域の安保は大西洋、欧州地域の安保とも深く関連している」とし、「NATOとの協力強化もまた非常に重要だ」と主張した。

北朝鮮に対しては「全体主義体制と抑圧統治を続けている」と批判。対決姿勢を鮮明にし自由民主主義国家の連帯を呼び掛けた。また「共産全体主義に盲従し、ねつ造・扇動で世論を歪曲し、社会をかく乱する反国家勢力が依然として横行している」

とし、こうした勢力に決してだまされたり屈服したりしてはならないと強調した。

野党、市民社会団体が一斉に批判

尹大統領の慶祝辞に対し「共に民主党」のクォン・チルスン報道担当は「日本の立場を強弁する大統領を理解できない」とし、反対勢力を共産全体主義と罵倒したことを「極右ユーチューバーの独白」のようだと批判。正義党のイ・ジェラン報道担当は「慶祝辞は野党、市民社会団体、労働界に対する宣戦布告」と批判。進歩党のソン・ソル報道担当は「侵略犯罪を認めない日本を相手に韓米日安保協力を云々するのは国民に対する背信」と批判した。6・15南側委員会、全国民衆行動、民主労総も一斉に批判の論評を発表、全国民衆行動は「日本をパートナーにし国民を敵にしようとする大統領はすぐさま辞任しろ」と要求した。

対決を煽る尹大統領は退陣しろ

尹大統領は光復節の慶祝辞で、日本の朝鮮に対する侵略戦争と植民地支配の歴史に一切言及しなかった。当然、強制動員被害者（元「徴用工」）や日本軍「慰安婦」といった歴史問題にも触れず、現在進行中の日本の福島放射能汚染水海洋投棄計画に対する主張もなかった。むしろ日本を普遍的価値を共有するパートナーと呼び、韓米日の3カ国安保協力の重要性を訴えるのに時間を割いた。また、朝鮮との対決と韓国内での反対勢力との対決をあげて、南北対立と国内の陣営対立を煽った。

わが民族は日本帝国主義の植民地支配から解放を勝ち取り光復を迎えたが、真の光復は祖国と民族の分断を克服し、祖国の自主統一を成し遂げたときに享受することができる。尹大統領の光復節の慶祝辞は、民族にとっての光復の意味を完全に破壊し、結局は慶祝辞に値するものではなかった。対決を煽る尹大統領には退陣の道しかないことがますます明らかになった。

●8月12日ソウル、「光復78年 主権き損の屈辱外交阻止！ 朝鮮半島の平和実現！ 8・15汎国民大会」など開かれる



「屈辱外交反対」「戦争をやめて平和へ」などの
プラカードを掲げて行進する参加者たち

日本帝国主義による植民地統治から解放を勝ち取った1945年8月15日の光復。それから78年を迎える中、8月12日午後4時からソウル景福宮近くで「光復78年 主権き損の屈辱外交阻止！ 朝鮮半島の平和実現！ 8・15汎国民大会」が開催された。主催は6・15共同宣言南側委員会、市民社会団体連帯会議、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権退陣運動本部、全国非常時局会議、「停戦70年 朝鮮半島平和行動」、韓日歴史正義平和行動の6団体。主要な連合・連帯組織が総結集した。

大会では、強制動員第3者弁済を推進し日本の福島放射能汚染水海洋投棄を認める尹錫悦政権の屈辱外交を厳しく糾弾するとともに、停戦70年を迎える中で進む韓米日軍事協力の強化に反対し朝鮮半島の平和実現を強く訴えた。（決議文は後掲）また、強制動員被害者を応援する「歴史正義

のための市民の集い」が募金、1億ウォンを遺家族に伝達し注目を集めた。

午後3時40分からは同所で尹錫悦政権退陣運動本部の主催による「生きられない！ 変えよう！ 尹錫悦政権退陣 第2回汎国民大会」が開催された。ヤン・ギョンス民主労総委員長ら8人の各界代表は尹政権退陣を求めるとともに、11月11日には20万人の民衆総決起をつくり出そうと訴えた。

午後6時15分ごろからは世宗大路上で「日本の放射能汚染水海洋投棄阻止共同行動」の主催による8・12全国行動が開催された。4野党代表らも参加し、ユン・ヒスク進歩党代表は「尹大統領は18日の韓米日首脳会談で『（汚染水海洋投棄に）わが国民は反対だ』とだけ言えばよい」と訴えた。

主要な連合・連帯組織である6団体が総結集し開催した8・15汎国民大会は現在の闘争課題を集約して掲げるとともに、6団体による反尹政権戦線が構築される方向性を示した。当然その中心軸は尹錫悦政権退陣運動本部が担わなければならない。11・11総決起を20万人以上の参加で成功させるためには△広範な戦線の構築△強力な指導部の樹立△国民的イシュー（闘争課題）の提示が必要だ。11・11総決起を成功させ尹政権退陣へとつなげなければならない。

「光復78年 主権き損の屈辱外交阻止！ 朝鮮半島の平和実現！ 8・15汎国民大会」 決議文（抜粋）

1. 「力による平和」は嘘だ。敵視をやめ朝鮮半島の平和を実現しよう！

「力による平和」政策の結果は、朝鮮半島の緊張と対決が激化し核戦争の危機が刻々と迫るだけだ。韓米合同軍事演習など対決を煽る一切の行動を中止し、対話と協力の道を開かなければならない。敵視をやめ戦争を終えて、いま平和へと進もう。

1. 主権をき損する屈辱外交を阻止しよう！

尹錫悦政権の強制動員第3者弁済は、侵略の歴史をすべて否定し被害者の権利を徹底して踏みについた反歴史的・反人権的暴力だ。政府は屈辱解決策を即刻廃棄しろ！ 日本政府が8月末と予告した福島放射能汚染水海洋投棄は人類と生態系に対する深刻な脅威だ。岸田政権は放射能汚染水海洋投棄計画を即刻撤回しろ！ 尹政権は国民の生命と安全を最優先とし日本の放射

能汚染水海洋投棄を防がなければならない。

1. 戦争の危機を呼び起こす韓米日軍事同盟を阻止しよう！

日帝の植民地支配犯罪に免罪符を与え日本の放射能汚染水海洋投棄をほう助する中で、韓米日軍事演習の定例化、韓米日軍事協議体の発足など、韓米日軍事同盟の構築が本格化している。8月18日には3角軍事同盟を可視化する韓米日首脳会談が予定されている。韓米日3角軍事同盟は中国封鎖に向けた米国の覇権戦略と日本の戦争国家化を後ろ盾するものだ。周辺国に対する敵視を強要し、歴史正義、主権、平和をすべてき損する韓米日軍事同盟の構築を中止しろ！

光復78年 主権き損屈辱外交阻止！ 朝鮮半島の平和実現！ 8・15汎国民大会 参加者一同

6・15共同宣言南側委員会、市民社会団体連帯会議、尹錫悦政権退陣運動本部、全国非常時局会議、停戦70年 朝鮮半島平和行動、韓日歴史正義平和行動

활동보고 活動報告

● 78年目の8月6日を迎え、韓統連広島本部がアピール



発題する尹康彦代表委員

「8・6ヒロシマ平和へのつどい2023 被爆・敗戦78年 広島から非武装・非同盟中立の日本を ～NATOの世界化に反対し、東アジア共同体をめざそう～」が8月5日、広島市まちづくり市民交流プラザで開催された。主催は韓統連広島本部も参加する同実行委員会。

第1部の問題提起では「被爆・敗戦78年 ヒロシマから」「ミャンマーの現状と問題点」「『はだしのゲン』削除は投げかけた問題とはー『はだしのゲン』が開けたパンドラの箱は閉まらないー」の各テーマで発題があり、広島本部の尹康彦（ユン・ガンオン）代表委員が「朝鮮半島の平和実

現のために」をテーマに発題した。発題では今年の6月に改悪された入管法について言及。「戦後、在日朝鮮人を管理・抑圧するためにできた法律。当時から韓国・米国・日本は連携していた」と指摘。「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の『反共』『親米』『親日』」の姿勢が韓米日3カ国の軍事協力の強化につながる。朝鮮半島の平和のため韓米日軍事同盟に反対しよう」と訴え、7月22日に韓国で開催された「停戦70年 朝鮮半島平和行動」での韓統連の闘争を紹介し、停戦協定を平和協定に変えるために韓日の連帯が必要だと強調した。

第2部の記念講演では社会運動家でピープルズプラン研究所の白川真澄さんが「米中対立を超えて、非覇権・非軍事・連帯の東アジアへー自立した循環型地域経済が横につながって、グローバル化と「経済安全保障」に対抗していくビジョンを考える」のテーマで講演。国境を越える連帯と協力のシステムで、自由貿易・弱肉強食ではなく公正と連帯の原理の社会をつくろうと主張した。

● 福島原発汚染水放出に各地で反対の声…韓国からも続々と訪日

日本政府が8月にも東京電力福島第1原発の放射能汚染水海洋放出（投棄）を強行するとの方針を示し、放出反対の内外世論が高揚する中、各地で反対運動が高まっている。

【韓国の大学生が訪日し抗議行動】



首相官邸前で抗議する大学生たち

8月9日、韓国の市民団体「平和ナビ」をはじめとする大学生が遠征団を組織し、汚染水海洋投棄に抗議するため来日。東京電力、経済産業省、首相官邸前で抗議活動を展開し、日本の反原発団体と交流した。遠征団は汚染水投棄について「海洋の生態系を破壊し、水産業者の生活にも深刻な打撃を与える」とし、汚染水の投棄中止を要求した。遠征団はその後、福島原発を訪問し、新宿で街頭宣伝を展開。韓統連と東京民主実践連帯のメンバーが連帯し、ともに活動した。

【首相官邸前抗議行動】



首相官邸前で抗議する市民団体

8月18日には日本の市民団体が、「汚染水を海に流すな！ 8・18首相官邸前集会」を開催。参加者は首相官邸に向けて抗議の声をあげた。250人の参加者はその後、参議院議員会館で「汚染水を海に流すな！ 8・18国会内集会」を開催し、日本政府と東京電力に要請書を提出した。主催は「これ以上海を汚すな！ 市民会議」と「さようなら原発1000万人アク

ション実行委員会」。要請書では「海洋放出の強行は、廃炉や被害回復を妨げ、漁業者や福島県民をはじめあらゆる関係者に不利益をもたらす恐れがあることから、一旦立ち止まり、2015年の福島県漁連等との文書約束を守って、汚染水の海洋放出はやめること」などを求めた。当日は首相官邸前集會に韓統連の宋世一（ソン・セイル）委員長が参加した。

【汚染水放出反対徒步行進】



JR尼崎駅前ではアピールする行進団

韓国の李元栄（イ・ウォニョン）前水原大学教授が、7月16日から9月11日まで、山口県下関から東京の国会議事堂までの約1,100kmを汚染水放出反対を訴えながら行進している。

李元栄氏の呼びかけに応え、福島汚染水放出に反対する日本各地の脱原発や平和運動の市民グループが李元栄氏をサポートし徒步行進に同行。連日、朝の出発集会で李元栄氏のアピール文を全員が読み上げ、夜は福島汚染水放出反対のスタンディングアピールを展開している。

8月11日の徒步行進（兵庫・尼崎市～大阪市～吹田市）に韓統連兵庫本部の崔孝行（チェ・ヒョヘン）代表委員が参加。汚染水投棄反対を力強く訴えた。

※行進団の詳細は下記参照

<https://cafe.daum.net/earthlifesilkroad>

8月22日、汚染水の海洋放出が閣議決定され、24日から放出されることとなった。これを受け、日本の市民団体が24日に東京電力前で抗議集会を開催。韓統連・韓青も参加し、宋世一委員長が連帯挨拶した（詳報は次号）

● 首相官邸前で日米韓首脳会談抗議集会が開催される…李俊一総務部長がアピール



連帯あいさつする李俊一総務部長

「戦争・治安・改憲NO！ 総行動実行委員会」が8月17日、翌18日に米ワシントンのキャンプデービットで開催される日米韓首脳会談に反対し、首相官邸前で抗議集会を行った。

実行委員会が主催者あいさつ。「岸田内閣はこれまでにない大軍拡を行っており、日米韓の軍事的な繋がりが強まるばかりだ。今年に入って日米韓軍事演習が頻発している。日米韓の軍事一体化を進める首脳

会談に断固として反対する」と語った。

韓統連の李俊一（イ・チュニル）総務部長が連帯あいさつ。「15日から韓米合同軍事演習の事前演習が始まっているが、朝鮮は米国の戦略資産が動員される同演習を戦争挑発として危険視しており、朝鮮半島の戦争危機は高まるばかりだ」と述べ、「韓国の尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は民衆の意志を無視し、対米従属・対日屈辱外交を続けている。韓国国内では尹政権退陣運動本部が発足し、全国的な退陣運動へと発展しつつある。闘う韓国民衆と連帯し、アジアに戦争危機をもたらす韓米日軍事同盟を阻止しよう」と語った。

参加者全体でシュプレヒコール。△日米韓首脳会談反対△日米韓合同軍事演習反対△改憲策動阻止△差別排外主義反対などをアピールした。

● 韓統連が全国で光復節78周年記念集会を開催…汚染水投棄阻止・尹政権退陣を決議



決議事項を唱和する参加者たち（東海地域集会）

在日韓国民民主統一連合（韓統連）は8月13日に関西地域で、20日に神奈川、東海地域で、22日に広島地域で「汚染水海洋投棄阻止！ 尹錫悦政権退陣！ 光復節78周年記念 在日韓国人集会」を開催した。

四日市市内で開催された東海地域集会では、冒頭で民衆儀礼を行い「あなたのための行進曲」を斉唱。三重本部の金相祚（キム・サンジョ）代表委員が主催者あいさつ。「福島原発汚染水海洋投棄を認めたすべての人に問いたい。『あなたは飲めます

か？』と。光復節78周年を祝うこの日に、汚染水投棄反対の声と尹政権（ユン・ソンニョル）政権退陣の声を東海の地からも高らかに表明し、行動していこう」と力強く語った。

7月21日から23日まで開催された「停戦70年 平和行動 韓統連母国訪問団」の映像を上映後、安昌浩（アン・チャンホ）三重本部副代表委員が活動内容を詳細に報告し成果を共有した。

宋世一（ソン・セイル）委員長が情勢講演。この間の韓米日軍事協力の動き、国内の進歩・民衆陣営の闘争について共有し、「5月の光州集会、7月の訪問団という大きな成果をもって、尹錫悦政権退陣闘争に国内勢力と連帯して闘っていくことを約束しよう」と強調した。

決議文を三重本部の孫京煥（ソン・ギョングァン）常任顧問が朗読。△韓米合同軍事演習の即時中止△日本政府の汚染水海洋投棄阻止△民生・民主・平和を破壊する尹政権の退陣△祖国の平和と統一の実現を決議した。

閉会辞では愛知本部の趙基峰（チョ・ギベク）



講演する宋世一委員長

ボン) 代表委員 (副委員長) が閉会あいさつ。「尹錫悦大統領による光復節祝典の演説は前時代的なもので、怒りがこみ上げた。汚染水の問題も含め、屈辱外交を繰り返す尹政権退陣に向け全力で闘っていこ

う」と語った。

関西地域集会は尼崎市内で開催され、崔孝行 (チェ・ヒョヘン) 兵庫本部代表委員が主催者あいさつし、金昌五 (キム・チャンオ) 大阪本部副代表委員 (事務長) が情勢講演、尹元壽 (ユン・ウォンス) 兵庫本部常任顧問が閉会あいさつした。神奈川地域集会は川崎市内で行われ、文世賢 (ムン・セヒョン) 神奈川本部代表委員が主催者あいさつし、李俊一 (イ・チュニル) 総務部長が情勢講演した。広島地域集会は広島市内で開催され、尹康彦 (ユン・ガンオン) 広島本部代表委員が主催者あいさつし、宋世一 (ソン・セイル) 委員長の情勢講演を動画で共有、朴隆宏 (パク・ユンゲン) 副代表委員が閉会あいさつした。



神奈川地域集会



関西地域集会



広島地域集会

決議文

1945年8月15日、わが民族は日帝の植民地統治から解放をかちとり光復を迎えた。それから78年、だが祖国はいまだに分断されたままであり、停戦協定体制による戦争状態はいまも解消されていない。祖国の平和と自主統一を一日も早く実現し、民族の歓喜の中で真の光復を迎えよう。

バイデン大統領は朝鮮・中国・ロシアを包囲・圧迫することを念頭に、韓米・日米同盟と韓米日軍事協力のさらなる強化と拡大を図るために、8月18日にワシントン郊外の山荘キャンプデービッドで3カ国首脳会談を開催する。合わせて、15日から韓米合同軍事演習「ウルチ・フリーダム・シールド」を大々的に展開。米戦略資産の動員も含む同演習は朝鮮の強い反発を呼び起こし、朝鮮半島の軍事緊張を極度に高めている。韓米日軍事協力の強化に反対し、韓米合同軍事演習の即時中止を強く求める。

世論調査で福島汚染水海洋投棄に「反対・心配」が85%に達するにもかかわらず、尹錫悦大統領は国民の不安を「怪談」によるものだと一蹴し、日本政府の放出計画を支持している。しかし反対・阻止の世論と運動はますます高揚し、政党・市民社会団体・漁業関係者による訪日闘争も活発だ。尹政権の対日屈辱外交がつくり出した韓日「正常化」は、汚染水海洋投棄にとどまらず、軍事分野を含む韓米日協力を促進する背景ともなっている。対日屈辱外交を糾弾し日本政府の汚染水海洋投棄を阻止しよう。

尹錫悦政権退陣運動本部は7月15日に続いて8月12日と9月16日に、尹政権退陣汎国民大会を開催。その成果を集め退陣要求をさらに高めながら、11月11日に20万人規模の「民衆総決起」を成功させ、2024年尹政権退陣総選挙へとつなげていく方針を明らかにしている。反民生・反民主・反平和の尹政権をこれ以上許すことはできない。朴槿恵大統領を弾劾へと導いた汎国民キャンドル行動は2015年11月の民衆総決起が導火線となった。20万人民衆総決起を大成功させ尹政権を退陣させよう。

わたしたち韓統連は停戦協定締結70年を迎え、7月22日にソウルで開催された「停戦70年 朝鮮半島平和行動」に参加し、平和協定の締結を展望しながら朝鮮半島の平和実現を力強く訴えた。その成果を共有し、決意を込めて次のように決議する。

1. 韓米合同軍事演習を即時中止しろ！
1. 日本政府の汚染水海洋投棄を阻止しよう！
1. 民生・民主・平和を破壊する尹政権は退陣しろ！
1. 祖国の平和と統一を実現し真の光復を迎えよう！

2023年8月

汚染水海洋投棄阻止！ 尹錫悦政権退陣！
光復節78周年記念 在日韓国人集会
参加者一同

光復節集会は下記の韓国インターネットメディアに掲載されました

統一ニュース

<http://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=208772>

自主時報

<http://www.jajusibo.com/63224>

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMIGrXfqjQ

韓統連Instagram

https://www.instagram.com/korea_htr/?hl=ja



韓統連YouTubeチャンネル

행사예정 行事予定

8月

第55回韓青東日本夏期講習会(サマーキャンプ2023)

日時: 8月26日(土)～27日(日) 場所: 愛知県名古屋市中区 内容: 学習企画、民族文化ワークショップ、レクリエーション、BBQなど 主催: 韓青関東・東海地方協議会 連絡先: 03-4400-5331 (ハン)

統一マダン生野プレイベントー朝鮮戦争を完全に終わらせ、平和協定実現に向けて歩もうー朝鮮半島とアジアの平和を考えるつどい

日時: 8月27日(日) 午後1時受付 1時30分開始 場所: クレオ大阪中央 4回セミナーホール 内容: プレゼン(又はビデオ)「朝鮮戦争の真実」、講演(講師: 康宗憲(カン・ジョンホン) 韓国問題研究所代表 参加費: 800円(障害者、学生、75歳以上は500円) 主催: 第28回統一マダン生野実行委員会 連絡先: 090-3822-5723 (チェ)

9月

関東大震災から100年 朝鮮人虐殺の真実から、日本の歴史修正主義を問う9.1集会(愛知)

日時: 9月1日(金) 18時30分 場所: イーブルなごや ホール 内容: 講演(講師: 劉永昇(ユ・ヨンスン) さん(「風媒社」編集長) 主催: 日朝教育・文化交流をすすめる愛知の会、「韓国併合」100年東海行動実行委員会、在日韓国民民主統一連合愛知本部 連絡先: 090-8866-4015 (竹内)

関東大震災朝鮮人虐殺記録映画「隠された爪跡」上映会(三重)

日時: 9月3日(日) 13時開場 13時30分開会 場所: 四日市市総合会館 内容: 第1部 映画上映 第2部 講演会「韓日関係の現状と私たちの課題」(講師: 金昌五(キム・チャンオ) 韓統連大阪本部副代表委員) 主催: 在日韓国民民主統一連合三重本部 在日韓国青年同盟三重県本部 連絡先: 090-9021-4879 (キム)

第8回尹錫悦政権糾弾集会(東京)

日時: 9月9日(土) 午後5時30分 場所: 新宿駅西口地下イベント広場 主催: 東京民主実践連帯 連絡先: 090-4298-6113 (李)

第28回統一マダン生野

日時: 9月17日(日) 正午 場所: 生野区・いくのパーク 内容: ステージ(6・15市民合唱団、ちゃんへん. さんによるジャグリング、安聖民(アン・ソンミン) さんによるパンソリ、きむ・きがんさんによる歌など)、屋台、各団体のアピール 主催: 第28回統一マダン生野実行委員会 連絡先: 06-6711-6377 (チェ)